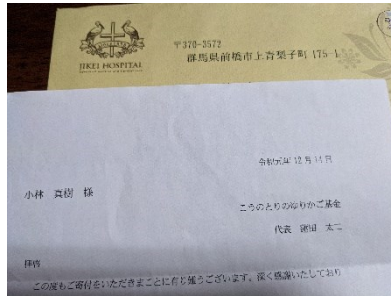


売上げ 1 個あたり 50 円を「こうのとりのゆりかご」へ寄付します

～身寄りのない妊婦と生まれて間もない赤ちゃんの命を救い続ける熊本の慈恵病院～



株式会社ドリームファームは、売上げ 1 個あたり 50 円を寄付金額設定とする、母親へのプレゼント専用肩たたき棒を 11 月 15 日より販売開始します。

現在、自宅出産や赤ちゃんの遺棄、育てることも相談することもできない妊婦さんが絶えないという現状があります。

そんな彼女らを救う、日本で唯一の窓口として、熊本県に「こうのとりのゆりかご」という施設があります。

弊社は 2019 年 10 月より、運営元である慈恵病院への寄付活動を継続しております。

活動を始めた動機は、海外旅行中に見かけた現地の家族の生活風景でした。家族はもちろん、周囲のみんなで一人の赤ちゃんを可愛がる微笑ましい姿。昔の日本もこうだったのかな？なんて思ったりもしました。

そんな時に偶然、当院の存在を知り寄付活動を始めました。始めた当初、先代の院長の名前で毎回届いたお礼状には「赤字とともに運営しているのが実情」という胸の内が赤裸々に綴ってありました。

テレビドラマの舞台にもなった慈恵病院ですが、その知名度とは相反して、否定的な風評や待たなしの現実と向き合う形で、日本で孤軍奮闘していると聞きます。私は、将来の日本を支える尊い命と、先代の院長から受け継ぐ志のお手伝いできればと考えています。

私にできることは商品を企画して販売することです。そこで今回、なかなか収束のメドが立たないコロナ禍において、「親孝行したいときに親はなし」が決して大げさではないと意識しつつ商品を企画しました。

子供から母親へのプレゼント専用の肩たたき棒です。パッケージ表面にデザインした一筆箋（いっぴつせん）に 3 行ほどの手紙が書ける作りです。

その肩たたき棒の売上げ 1 個に対して 50 円を寄付金額として設定します。生んでくれた、育ててくれた母親へのプレゼントが、生まれて間もない命を救う寄付につながります。売上げ数と寄付金額は毎月、弊社ホームページ上で公開します。

幼少の頃から私は、日常的に母親や祖母の肩たたきをしていました。親孝行の形は人それぞれだと思います。しかし、たたく度に母親や祖母にとっても喜ばれた私の脳内には、「親孝行=肩たたき」という方程式が今も強く根付いています。(父親・祖父には肩たたきを依頼されたことはありません)

気軽に会うことが困難な今、会えない代わりに体温のこもった、世界に1つだけの筆跡と共にお母さんに贈る肩たたき棒です。きっと、物理的には離れ離れでも「心」の距離を縮め、寄り添い合うお手伝いができると思っています。スマホで瞬時に送信するインスタントな文字では得られないコミュニケーションが実現すると思っています。

私は、コロナ禍の親子関係を円滑にするお手伝いをしたいです。また、誰にも言えず苦しんでる妊婦さん、何の罪もない赤ちゃん、信念を曲げずに活動を続けるこのとりのゆりかご、これらの方々の力になりたいです。

大変お忙しいとは存じますが、今回の取り組みをご取材いただき、報道の力で多くの方々に知らせていただけたら幸いです。

商品発売予定日:2021年11月15日

【本件へのお問い合わせ先】

会社情報:株式会社 Dream Farm/代表:小林真樹(まさき)/〒370-3572 群馬県前橋市上青梨子町175-1

電話:0120-007-848/090-1699-5505

メール:sales@dreamfarm01.com

ホームページ:<https://www.dream-farm01.com/>

理念:生きとし生けるもの全てが経済の一員/四方よしの上州商人(売り手・買い手・世間・未来)

コンセプト:雑貨を売らない雑貨屋

左記メールアドレス

ホームページ

